

夢Ambitious 挑戦Attack 創造Originate

早良区 LOVE

a.a!o!



= 県政レポート =

良識を県政へ。

福岡県議会議員 古川 忠事務所 福岡市早良区原3-18-15 TEL092-822-8555 FAX092-822-8610



新年の御挨拶

新型コロナウイルスの感染が始まってから早くも三年が経ちました。次々に変異株の登場で未だ終息の兆しが見えません。しかしこれ以上経済の抑制を続けることは出来ず、福岡県も、コロナ対策と経済対策の両面作戦に舵を切りました。これからは、一人一人が、換気や衛生面に気を配りながら、少しでも早く日常を取り戻す工夫が必要です。

一方、世界に目を向ければ、ロシアのウクライナ侵攻から間もなく一年が経ちます。福岡県にも多くのウクライナからの避難の方々が暮らしています。ロシアの一方的な侵略や非人道的な行為に対しては強く非難を続けます。この競争できる範囲での支援を続けたいと思っています。この戦争の影響で、ガソリンの高騰や物価高によって、県民生活、特に農漁業や中小零細企業の痛手が広がっています。県は、これらを支えるべく様々な支援策を打ち出しています。県は、色々御相談があったら遠慮なくお声かけ下さい。一緒に頑張ってこの困難を乗り越えて行きましょう。

最後に私事ですが、皆様のお陰で七期にわたり議員として活動させて頂きましたが、年齢等々考え、後進に道を譲るべく引退を決意しました。皆様には長きにわたる御支援に心から深く感謝申し上げます。幸いに私の二男が志を継ぐ決意をしましたので早速『古川悠哉(ゆうや)後援会』を立ち上げました。お許し頂けるならば、皆様との絆の証しを、新後援会に譲りたいと思います。どうか御理解と変わらぬ御支援を伏してお願ひ申し上げます。

「志を継いで、より良い社会づくりに全力で取り組み覚悟です」

二男 悠哉

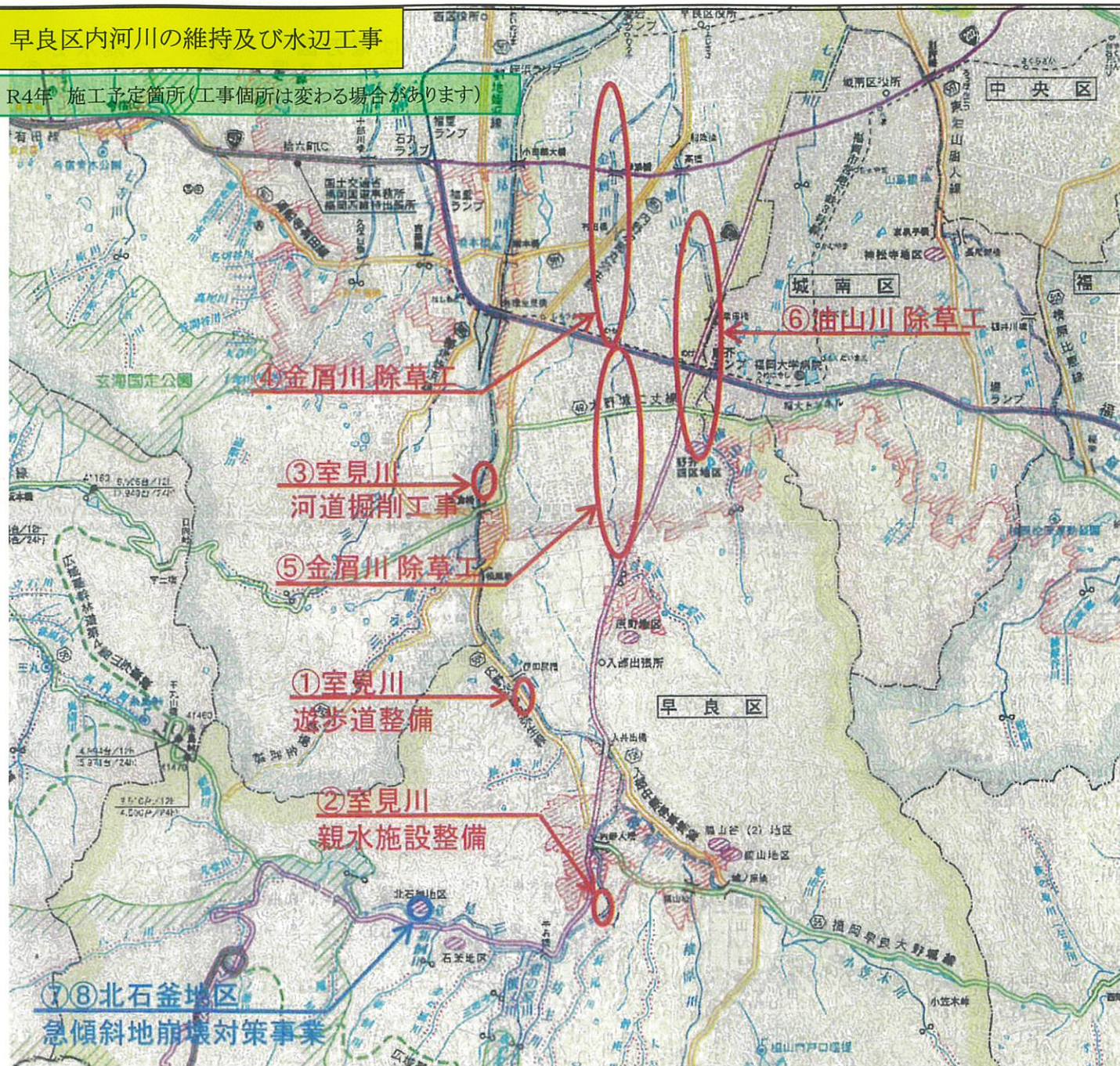
「若い力に託します」

忠



早良区内河川の維持及び水辺工事

R4年 施工予定箇所(工事箇所は変わる場合があります)



- | | | | |
|----------------|---|------------------|--|
| ①室見川 (河川: 単独) | 早良区西入部 工事内容: 遊歩道整備 予定工期: R4.11.9~R5.3.17 | ⑦北石釜地区 (急傾斜: 補助) | 早良区大字石釜 工事内容: 北石釜地区崩壊土砂防護柵設置工事(1工区) 予定工期: 未定(11月19日入札) |
| ②室見川 (河川: 単独) | 早良区内野 工事内容: 親水設備整備 予定工期: R4.10.15~R5.3.17 | ⑧北石釜地区 (急傾斜: 補助) | 早良区大字石釜 工事内容: 北石釜地区崩壊土砂防護柵設置工事(2工区) 予定工期: 未定(11月19日入札) |
| ③室見川 (急傾斜: 補助) | 早良区・西区 工事内容: 河道掘削工 予定工期: 未定(11月17日入札) | | |
| ④金屑川 (河川: 単独) | 早良区内 工事内容: 維持工事(1工区)(除草) 予定工期: R4.8.20~R4.12.27 | | |
| ⑤金屑川 (河川: 単独) | 早良区内 工事内容: 維持工事(2工区)(除草) 予定工期: R4.8.18~R4.12.27 | | |
| ⑥油山川 (河川: 単独) | 早良区内 工事内容: 維持工事(除草) 予定工期: R4.8.17~R5.1.4 | | |



油山川や金屑川などでは川床から生えた雑草や、中には樹木が生い茂った箇所などもあります。地域で草刈りなどをして頂いておりませんが、手に負えない場合は、県の整備事務所に つなぎますので、遠慮なくお知らせ下さい。

『田園の美しい国はどこか品格がある』

▽▽▽ コラム ▲▲▲

ベストセラーにもなった「国家の品格」を著した数学者、藤原正彦さんが一九八七年八月、文部省の長期在外研究員として初めてイギリスに降り立った時、機上から緑豊かな田園風景を目にして感動と共に発した感想である。

当時、日本は経済繁栄の真只中。国民総生産、国民所得とも世界最高水準を誇っていた。それに反し、イギリスは経済不振や犯罪の多発など「斜陽老大国」として英国病とまで揶揄されていた。にもかかわらず、実際に見たイギリスの大地は日本と比較にならない程端正で落ち着きを備えていた。「美しい自然を維持するには、国民にそれだけの精神的、経済的豊かさがないと成らない。私は素頓狂に『イギリスは豊かだ。日本より豊かだ』と叫んだ。」と彼の著書「遥かなるケンブリッジ」で述べている。

あれから三十年余。我が日本は国民所得は全く伸びず、気が付いたら隣の韓国をも下回った。所得格差は広がり、子供が家庭で満足に食事も与えられず、我が福岡県でも「子供食堂」があちこちに生まれるという悲惨な有様だ。思えば、三十年程前からいわゆる経済の自由主義が強化された。市場原理を基本とし競争によって経済成長を目指すという経済論理、合理主義の一つ。強者、例えば大企業がひたすら利益を上げれば、その果実がトリクルダウンで国民全体が潤うというもの。明治以来の日本の成長の一翼を担った面もあるが、今、年金生活者が四分の一を超え、成熟した日本社会に於て、この政策を放置していいものか。

一言で言えば「お金を儲ければ幸せなのか」と言うものである。明治初期に来日した外国人は「日本人はみな貧しい。だれも皆幸せそうだ」と異口同音に述べている。国民一人一人がより豊かになることは政治の最大の目標であるし、否定はしない。しかし、明治以来富を追求する余り、日本人特有の自然への畏敬、弱者への涙を失わせてしまった。あろうことか、弱者をイジメ、排除する風潮すら生まれている。

先のエリザベス女王の葬儀の際の整然とした葬列、女王に対する心からの尊崇の念。自国に対する誇り。奥深いイギリスの文化を改めて感じた人は多いのではないか。美しいイギリスの格ある国家を取り戻そうではないか。今こそ品格ある国家を取り戻そうではないか。

忠

環境特集

—特に地球温暖化について—

二〇一七年（平成二十九年）七月、甘木朝倉地区に大災害をもたらした「九州北部豪雨」。翌年も、福岡だけでなく熊本、佐賀両県にわたって豪雨災害が発生するなど、地球温暖化による気候変動は、年々深刻になりつつあります。

その主な原因はCO₂などの温室効果ガスの排出です。もちろんこれは地球規模の問題ですが、我々身近な問題として、福岡県の実態と取り組みを御報告します。

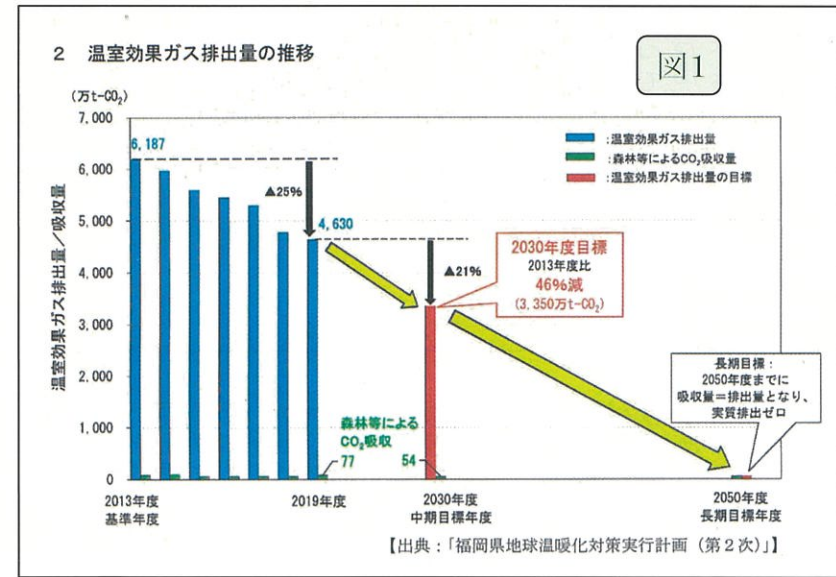
一、十五年後、福岡は亜熱帯地域に
福岡県の年平均気温は、一〇〇年当たり2・48度の割合で上昇しています。このまま上昇を続けると二〇三〇年には年平均気温が限りなく二〇度に近づき、福岡県は沖縄と同じ亜熱帯地域ということになります。

目標
政府は二〇五〇年までにCO₂排出実質ゼロを目標に掲げていますが、福岡県の実態と目標は図1の通りです。当面二〇三〇年には一三年度比46%減少を中期目標としていますが、達成は容易ではありません。県産農産物にも既に様々な影響が出始めています。

一、「エコ事業所」の推進
CO₂排出量を部門別に見ると産業・業務で57%、運輸関係が20%、そして家庭からの排出は15%を占めています。県は、地球温暖化防止活動推進センターを設置し、地球温暖化防止活動推進員の派遣などを通じて、事業所のエコ推進を後押ししています。又、一定の効果を上げた場合「エコ事業所」として認証、登録し、

これは公共工事等のアドバンテージにもなりません。

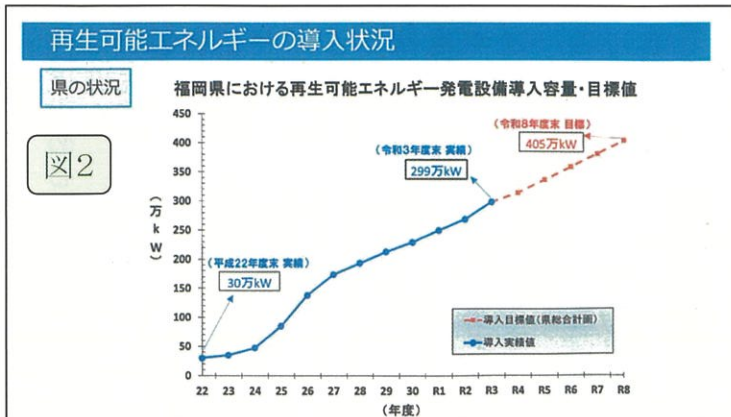
一、「エコファミリー」の推進
CO₂排出量の約四分の一を占める家庭からの排出は、電力が60%と圧倒的に多く、ストーブなどの石油製品が20%、都市ガスが13%となっています。電気を中心に消したり、ガス及び水道使用量の削減。又、自動車燃料や灯油使用量の削減などで、前年よりCO₂排出量が一定量削減した世帯やグループを毎年表彰。協賛企業のギフトカードや地元特産品などの進呈を受ける特典があります。



◎水素戦略と再生可能エネルギー
福岡県の政策として最も力を入れているのが、「水素」と「再生可能エネルギー」とりわけ洋上風力発電の導入です。福岡県は他県に先駆けて二〇〇四年に水素エネルギー戦略会議を立ち上げ、我が国の「水素利用技術開発特区」に指定され、九大や日本製鉄など企業との産学官共同で研究を進めてきました。水素ステーション設置にも取り組み、昨年は名称を「福岡県水素グリーン成長戦略会議」として、実用化に向け新たな段階に移行しています。

①産業育成として製品開発への助成や技術支援により、県内で既に三十件の製品開発が実現

②普及促進として水素燃料自動車(FCEV)と水素ステーションの一体的取組み。FCVは昨年五月現在で二百四十台(全国7位)。水素ステーションは十一箇所(全国4位)。エネファームは約一万台普及しています。



③社会実証 北九州水素タウンやCO₂フリー水素の製造。トヨタ出資会社と水素車活用について提携するなど、長距離小型トラック、ゴミ収集車や路線バスへの導入を目指します。

◎洋上風力発電への取り組み
県の再生可能エネルギー発電と目標は図2の通りです。この中で風力発電は四万KWで、わずか1%です。陸上風力発電は既にありますが、海洋国家・日本では政府も洋上風力発電に力を入れ始めました。秋田県沖や長崎県・五島沖は既に国の促進区域に指定されており、福岡県は響灘沖を有力候補地として、国指定に向け活動中です。



秋田湾上ウインドファーム

令和4年9月議会 決算特別委員会から

昨年九月の県議会決算特別委員会では、七部署にわたって様々なテーマで質問をさせて頂きました。環境問題の質問を除いていくつかご報告いたします。

一、ギフトテッドの教育について
子供たちの中には、学習に限らず芸術や音楽などに特に優れた子供がいます。それら特異な才能を与えられた子供のことを「ギフトテッド」と呼ばれています。日本の教育は平等を強調するあまり、特異な才能を持った子供が授業に飽き足らなかつたり、ともすれば「イジメ」の対象になったり不登校になるケースもあります。文部省は、やっと「横並」教育から脱出することに舵を切り、新年度からは、中学などから一気にならぬ飛び級が普通に行われていますが、日本ではわずかに数校の大学しか受け入れていません。諸外国に大きく後れを取った生徒達の才能を伸ばす教育は正にこれからです。県でも一日も早く習熟の程度に応じた自由度の高い教育を取り入れる様、強く要望しました。

一、フリースクール及びサポート校について

学校に馴染めなかつたり、ちょっとしたつまづきから進学が遅れ、不登校の児童、生徒が増えています。その受け皿としてフリースクールや通信制サポート校も年々増えています。先ずもって不登校対策が重要ですが、福岡県立大学に、不登校児童生徒への学習支援と心理的サポート



を行う、全国唯一の大学内フリースクール「キャンパススクール」を開設。大学に蓄積された人的資源やノウハウも活用して、学校や市町村などと連携して対象児童生徒の自立支援などを行っています。

一方、県内のサポート校は七十二施設もありますが、通信制の本校が他県にあつたりして実態を把握するのが難しいのが現状です。又、サポート校には統一的な基準が無い為、運営状況やサービス水準があいまいです。学費についても結構高額な所もあります。サポート校に通わせる家庭にとつて負担も大きく、経済的理由でサポート校に通えない生徒は、居場所を失い、引き込まれるケースも多いのです。何らかの支援を含め適切に対応するよう指摘しました。

一、ヤングケアラーについて

年齢や成長の度合いに見合わないのに家族の介護に重い負担を背負っている十八歳未満の子供をヤングケアラーと呼び、年々増加しています。県が昨年調査したところでは、介護の対象者は兄弟、姉妹が最も多く、次に母親、父親、祖母などとなっています。ケアの理由としては、病気や障がい、精神疾患など様々ですが、親が家事をしないからというのも多くあります。ヤングケアラーが一日に費やすケアの時間はなんと六時間以上です。これでは、学校を休みがちになったり、遅刻や学力が振るわなくなるのも当然です。通学に支障をきたしたり情緒不安になる子もいます。ただ、それが日常となつて、自分がヤングケアラーと認識していない子が約半数を超えていることや、家庭内のことで、実態を把握するのを困難にしています。社会への広報啓発や、民生委員など地域との連携を密にし延べてあげられる様、強く要望しました。